

第2回 FD 研修会・第3回情報交換会が開催されました

2024年3月8日(金)3限に1257講義室にてFD委員会主催「第2回研修会」が対面+Zoomのハイブリッド形式で開催されました。また、4限にはFD情報交換会が開催されました。この便りでは、当日の様子をご紹介します。

- ・テーマ：学生のメンタルケアを考える
- ・講師：勝又 陽太郎先生（東京都立大学准教授）
- ・参加者：対面22名、Zoom8名



令和5年度第2回目FD研修会は、勝又陽太郎先生に学生のメンタルケアについて講演していただきました。講演では、最初に最近の大学生の特性や、コロナ禍以降の若者と女性のメンタルヘルスが悪化している現状について説明していただきました。このような状況を踏まえ、大学に登校できない、また、連絡がつかない学生に対するアドバイザーとしての役割について、信頼関係の構築する対話など、具体的な方法をお話していただきました。

例えば、アドバイザーは教育に関するサポートチームの一員として学生のサポートづくりを手伝う姿勢で学生と向き合い、良好な関係作りを行うことが大切だと説明されました。その際、重要となるのは情報提供だけでなく、アドバイザー教員も実際に関わることを学生に伝えることが大切だということをお話されていました。

また、講演では、信頼関係を構築するための対話の原則や、学生に受け入れてもらいやすい話し方など、実際の場面を想定しながら、すぐに実践できる対応方法を示していただきました。最後に大学におけるメンタルケアの課題について提示していただいたことにより、今後、本大学における学生のメンタルケアの対処法を考える契機になったと感じました。

講演終了後は本学教員との活発な質疑応答が行われ、多数あった質疑の1つに学生への対応をしている際の教員のメンタルの維持に関する内容があり、その際先生は「アドバイスはするが、最後は学生本人に決めさせることが大切」とおっしゃっていました。講演を通して、教員は学業の問題を窓口として学生とコンタクトをとり、情報提供や選択肢の提案など「ちょっと役に立つ大人の一人」としての立場が求められる姿勢であると示されていたことが大変印象的でした。

研修会後に開催した情報交換会では、参加者11名(対面9、Zoom2)全員が研修会参加者だったため、主に、研修会で学んだ内容を基に、学生対応の工夫や学部・学科ごとの違い、学生のプライベートとの線引きなどについて、情報交換をしました。

